

3

次の かざり言葉は、(ア)・(イ)の どちらに入れる ことが できますか。記号を 書きなさい。

一つ6(24点)

(1) 「こっそり」

犬を (ア) しかると、犬は (イ) 犬小屋に かくれました。

(2) 「元気よく」

先生の 合図に (ア) 合わせて、(イ) 歌を 歌いました。

(3) 「おどろいて」

かえるの 目の 前で (ア) 手を たたくと、かえるは (イ) とび上がりました。

(4) 「さびしそくに」

えりちゃんが、
「もう 帰るの。」

と (ア) 言いました。わたしが 帰る 用意を (イ) 始めたからです。



4

次の 文は、の ア〜エの どの 文と同じ なかまですか。記号を 書きなさい。

一つ4(20点)

(1) ねむって いた 赤ちゃんが 大きな 音で 目を さました。

(2) わたしが しょうらい になりたいのは ようち園の 先生です。

(3) ぼくの 家は 線路の 横なので、とても うるさい。

(4) その 本は たしか 向こうの 本だに あった。

(5) お兄ちゃんは 絵の コンクールで しょうじょうを もらった。

ア	何が(は)——どう する。
イ	何が(は)——どんなだ。
ウ	何が(は)——なんだ。
エ	何が(は)——ある(いる・ない)。

1 文が正しくつながるように、
書きなさい。
() に 番号

完答一つ8(24点)

- (1)
- () なかのいい
 - () 引っこしてしまった
 - () 先月
 - () となりの県に
 - () 友だちが
 - () 温かい息を
 - () お母さんが
 - () ふきかけてくれた
 - () つめたい手に
 - () わたしの
- (2)
- () とても
 - () 通っている
 - () この道路には
 - () たくさんの
 - () 自動車やトラックが
- (3)



2 次の文を、言葉のじゆんじよを反対にし
て書きなさい。
一つ7(28点)

- (1) 五分だけ待って。
〔 走ろう、いっしょに。 〕
- (2) この部屋は寒いね。
- (3) しんや君はいつになったら来るの。
- (4) テレビばかり見ていないで、宿題をしなさい。

3 次の文章を 読んで、問題に 答えなさい。

お母さんが 作る ^① カレーライスを 作り ^① ました。わたしも にんじ
 さんや たまねぎなどの 野菜 ^② を 切り ^② ました。
^③ 弟は わたしたちが 作った ^③ ものを、
 「おいしい、おいしい。」
 と 食べ ^③ ました。



(1) ①・②の じゆつ語に 対する 主語を 書きなさい。 一つ8(16点)

(2) ③の 主語に 対する じゆつ語を 書きぬ 書きなさい。 8点

4 次の文章を 読んで、問題に 答えなさい。

かり取った ^① いねを さかさに して ほして
 いる 光けい ^① を よく 見かけます。なぜ ^① すぐ
 に お米 ^② に しないのでしょ ^② うか。それは、よ ^② ぶ
 んな 水分 ^② を とばして、長持 ^③ ちさせるためです。
 きかい ^③ で かんそうさせる ところも あります
 が、やはり ^③ しぜんに かんそうさせた ほうが
 おいしいそうです。

(1) ①・②の 言葉を かぎって いる 言葉を 書きぬきなさい。 一つ8(16点)

(2) ③の 言葉が かぎって いる 言葉を 書きなさい。 8点

時間	15分
得点	/100
答え	18
ページ	

1 次の文の組み立てを考^{かんが}えて、に入^いる言葉を書^かきなさい。

黒^{くろ}いねこがのつそりと立ち上がった。

(1) ねこが 立ち上がった。

お父^{とう}さんが新^{あたら}しいネクタイを買^かった。

(2) お父^{とう}さんが 買った。

ぼくはあわてて家^{いえ}をとび出した。

(3) ぼくは とび出した。

2

次の文には○を、主語のない文には△を、じゆつ語の両方あるつ語のない文には×をつけなさい。

一つ4(28点)

(1) 湖^{みづうみ}の表面^{ひょうめん}を月^{つき}がてらした。

(2) 早く来^きなさいと先生^{せんせい}に言^いわれた。

(3) 国^{くに}きが風^{かぜ}にふかれてゆらゆらとゆれる。

(4) きれいな花^{はな}があんなところに。

(5) 木^きにぶら下げたハンモックにねそべっている。

(6) あれ、ここにおいたさいふは。

(7) だれなの、今日の日直^{にっちやく}は。

3

次の文章を読んで、問題に答えなさい。

ミノムシはガのよう虫です。ミノムシは
 ① 糸を
 ② 作り
 ③ ます。その
 ④ 形が
 ⑤ わらで
 ⑥ 作った
 ⑦ 雨
 ⑧ 具の「みの」に
 ⑨ いて
 ⑩ いる
 ⑪ ことから、この
 ⑫ 名前が
 ⑬ つき
 ⑭ ました。また、
 ⑮ 毛糸や
 ⑯ 細かく
 ⑰ 切った
 ⑱ 紙の
 ⑲ 中に
 ⑳ よう虫を
 ㉑ 入れると、
 ㉒ 色あざやかな
 ㉓ ミノ
 ㉔ を
 ㉕ 作り
 ㉖ ます。昔の
 ㉗ 子ども
 ㉘ たちは
 ㉙ こう
 ㉚ やつ
 ㉛ て
 ㉜ 遊んで
 ㉝ いました。ミノムシは
 ㉞ この
 ㉟ あた
 ㊱ たかい
 ㊲ すに
 ㊳ くる
 ㊴ まって、
 ㊵ 冬を
 ㊶ こす
 ㊷ のです。
 ㊸ また、
 ㊹ めすは
 ㊺ みの
 ㊻ の
 ㊼ 中に
 ㊽ たまごを
 ㊾ うみ、
 ㊿ よう虫は
 ① みの
 ② はし
 ③ から
 ④ 糸を
 ⑤ たら
 ⑥ して、
 ⑦ 風
 ⑧ に
 ⑨ 乗
 ⑩ って
 ⑪ いろ
 ⑫ いろ
 ⑬ な
 ⑭ ところ
 ⑮ へ
 ⑯ ち
 ⑰ ら
 ⑱ ば
 ⑲ り
 ⑳ ます。



15 10 5

(1) 書きぬきなさい。
 ①・③の言葉を
 かざって
 いる
 言葉を
 一つ(14点)

(2) きぬきなさい。
 ②・⑥の
 じゆつ語に
 対する
 主語を
 書
 一つ(14点)

(3) 書きぬきなさい。
 ④・⑤の
 言葉が
 かざって
 いる
 言葉を
 一つ(14点)

⑤ ④ ⑥ ② ③ ①

3 文の組み立てに 注意しよひ

標準クラス

60～61ページ

1 (1)オ・ク (2)ウ・カ (3)イ・カ (4)ア・エ

2 (1)入れる (2)答え(を) (3)取った (4)ぬる (5)ある (6)出た

3 (1)イ (2)イ (3)イ (4)ア

4 (1)ア (2)ウ (3)イ (4)エ (5)ア

考え方

1 文の中から主語と述語を探す問題です。主語とは、文の中で「だれが」「何が」にあたる言葉、述語とは、「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある(いる・ない)」にあたる言葉です。まず述語を探し、それからその述語に対する主語を探すとわかりやすいでしよう。

2 文の中から被修飾語を探す問題です。被修飾語とは、かざり言葉(修飾語)によって詳しく説明される言葉のことです。(3)～(6)は、修飾語と被修飾語が離れているので注意しましょう。

3 修飾語が入る位置を理解する問題です。原則として、修飾語は被修飾語の直前におくほうが文意の明らかな文となります。(1)「こつそり」は、「犬小屋に」という修飾語を一つはさんで、述語の「かくれる」にかかります。(3)・(4)は、それぞれ直後の言葉にかかり、その様子を詳しくしています。

4 文の基本形を理解する問題です。(1)「赤ちゃんがーきました」のように、修飾語をすべて除いてから、主語と述語がどんな関係になっているかを考えましょう。述語が、「どうする(＝動作を表す言葉)」「どんなだ(＝様子を表す言葉)」「なんだ(＝名詞十断定の助動詞「だ」)」「ある・いる・ない(＝存在を表す言葉)」のどれにあたるかを見分ければよいのです。(2)は、主語にあたる部分(「わたしがしよらいになりたいのは」が長いので注意しました)が述語、(5)は、「お兄ちゃん」が主語、「もらった」が述語です。

ハイクラス

62～63ページ

1 (1) (右から) 2・5・(ー)・4・3

(2) (右から) 4・(ー)・5・3・2

(3) (右から) 2・5・(ー)・3・4

2 (1) 待って、五分だけ。

(2) 寒いね、この 部屋は。

(3) いつに なったら 来るの、しんや君は。

(4) 宿題を しなさい、テレビばかり 見て いないで。

3 (1) ①お姉ちゃんが ②わたしも

(2) 食べました

4 (1) ①かり取った ②よぶんな

(2) おいしいそうです

考え方

1 ばらばらになった文の順番を直す問題です。それぞれ、述語が最後に来るように並べましょう。(1)は、「先月となりの県になかのいい友だちが引っこしてしまっただ」としても意味はつながりますが、「となりの県に↓引っこしてしまっただ」とつなげたほうが修飾関係が明らかになります。

2 言葉の順序を並べかえて、倒置の文にする問題です。それぞれ、述語とその修飾語を文頭にもってきます。

3 (1) 主語になる言葉には、「くが」「くは」のほかに「くも」「くだけ」などもつくことを覚えましょう。

(2) 「作った」は「わたしたち」の動作なので、注意しましょう。

4 (1) それぞれ、どんな「いね」か、どんな「水分」かを考えましょう。

(2) 被修飾語を探すときは、修飾語をそれ以降の言葉の直前にもってきて、意味が通じる言葉を探します。

【例】やはり↓×しぜんに やはり↓×かんそうさせた

やはり↓×ほうが やはり↓○おいしいそうです

- 1 (1)あ黒い (2)のっそりと
 (2)あ新しい (3)いネクタイを
 (3)ああわてて (4)家を

- 2 (1)〇 (2)△ (3)〇 (4)× (5)△ (6)× (7)〇
 (1)①ねばりけのある (2)③細かく切った

- 3 (2)②ミノムシは (3)⑥よう虫は
 (3)④ミノ(を) (5)⑤たらして

考え方

1 文の組み立てを理解する問題です。文を図解することで、言葉の係り受け(「修飾・被修飾関係」)がはっきりわかります。(1)の②には「ねこが」の修飾語、③には「立ち上がった」の修飾語が入ります。(2)は、②が①を修飾し、その二つで「買った」を詳しくしています。(3)は、②も③も「とび出した」を詳しくしています。

2 主語・述語の有無によって文を分類する問題です。(2)は、「言われた」が述語で主語はありません。「先生に」に惑わされないようにしましょう。(4)は、「花が」が主語。「咲いている」などの述語が省略されています。(5)は、「ねそべって いる」が述語で主語はありません。(6)は、「さいふは」が主語で、「どこだ」などの述語が省略されています。(7)は、「日直は」が主語で、「だれなの」が述語。主語・述語の位置が逆の、倒置文になっています。

3 (1) それぞれ、直前の二語が傍線部の言葉を詳しくしています。
 (2) 主語を探すときは、「が」「は」などの言葉に着目しましょう。最後の文は、一文の中に主語と述語の組み合わせが二つあります(「めすは」「うみ」)。「よう虫は」「ちらばります」)。⑥の主語を「めすは」と間違わないように注意しましょう。
 (3) ⑤は、被修飾語が直後になるので注意しましょう。

- 1 (1)例だから(それで・そこで・したがって)
 (2)例それに(そのうえ・それから・また)
 (3)例つまり(すなわち)
 (4)例ところで(ときに)

- 2 (1)花の つぼみが だんだん ぷくらむ。
 (2)カメレオンが 七色に 色を かえる。
 (3)去年より 身長が 五センチメートル のびた。
 (4)白い ごはんが ふつくと たぎ上がる。
 (5)大きな トラックが 工事げんばに 土を 運ぶ。

- 3 (1)生まれました
 (2)例ので(から)
 (3)例でも(だが・しかし・ところが・けれども)
 (4)それ
 (5)⑤お母さんは ⑥わたしは

考え方

1 正しいつなぎ言葉を選ぶ問題です。(1)は順接、(2)は並立・累加、(3)は説明、(4)は転換、(5)は逆接のつなぎ言葉が入ります。
 2 (3)「去年より」も「五センチメートル」も、「のびた」を詳しくしています。(5)「工事げんばに」も「土を」も、「運ぶ」を詳しくしています。
 3 (1)「先月」は、「いつ」にあたる修飾語です。
 (2) 逆接の「のに」では意味がつながりません。順接の接続助詞に直します。
 (4) 「これ」か「それ」か迷うところですが、近い過去のことを表しているので、「それ」がふさわしいでしょう。
 (5) どちらも主語と述語が離れているので注意しましょう。